

【付録】 行政・自治体向け 遠隔データ消去機能付きパソコン調達仕様書テンプレート

県庁や市区町村などの行政機関において、セキュリティリスクを根本から低減する「電源OFFでもリモートワイプ可能なPC」を調達する際、入札仕様書（要件定義書）に組み込むべき必須項目のテンプレート案です。自庁のセキュリティポリシーや調達要件に合わせて、適宜修正してご活用ください。

////////////////////////////////////

令和〇年度 遠隔データ消去機能付き業務用ノートパソコン 調達仕様書（抜粋）

1. 適用範囲 本仕様書は、〇〇県（市）が調達する業務用ノートパソコン（以下、端末）およびそれに付帯する遠隔データ消去サービス（以下、本サービス）が満たすべき機能要件を定めるものである。
2. セキュリティおよび遠隔データ消去機能（必須要件） 端末の紛失・盗難時における情報漏洩を確実に防止するため、本サービスは以下の要件をすべて満たすこと。
 - ① 電源オフ状態からの遠隔データ消去機能 端末の電源がオフ（シャットダウン状態）、スリープ状態、または休止状態であっても、管理者の遠隔操作により端末を強制的に起動させ、内蔵ストレージのデータを消去できる機能を有すること。
 - ② 独立した通信ネットワーク（WAN 通信）の利用 Wi-Fiや有線 LAN など、端末が接続しているネットワーク環境に依存せず、内蔵のモバイル通信モジュール（LTE/5G など）等を利用して、独立した通信経路（SMS トリガー等）で消去命令を受信・実行できること。
 - ③ OS 非依存の確実なデータ消去および消去基準（NIST SP800-88 準拠） Windows などの OS が起動しない状態、あるいは OS が破壊された状態であっても、ハードウェア（BIOS/UEFI）レベルで連携し、ストレージ全体を初期化（不可逆的な消去）できること。なお、本機能によるデータ消去方式は、米国国立標準技術研究所のガイドラインである「NIST SP800-88」に準拠した確実な消去であること。
 - ④ インターネット接続時の自動消去（オフライン待機機能） 電波の届かない圏

外などで(2)の命令が即時到達しなかった場合でも、クラウド等の管理サーバー側に消去命令を保持（待機）させ、端末が何らかのネットワークに接続された瞬間に、自動的にデータ消去を実行できること。

- ⑤ 消去証明の発行とログ管理 データの消去が完了した際、管理コンソール上で消去成功のログを確認できるとともに、第三者機関の監査等に提出可能な「データ消去証明書」を出力できること。
- ⑥ 位置情報の取得 端末の紛失時に、管理コンソールから端末の現在位置（GPS、Wi-Fi、基地局情報などを利用）を取得し、地図上で確認できる機能を有すること。

3. ハードウェア要件（セキュリティ関連） 上記の遠隔データ消去機能をハードウェアレベルで実行するため、調達する端末は当該機能に対応した通信モジュールおよびファームウェア（BIOS/UEFI）を搭載したモデルであること。

4. 導入および運用支援 受託者は、本サービスの導入にあたり、管理コンソールの初期設定、管理者向けのマニュアル提供、および本稼働までの技術的なサポートを実施すること。